

活動レポート

子育てサポーターの活動って？

どんなサポートが受けられるの？

参加する親子の様子は？

折尾東市民センターに行ってきました！

子育てサポーターの活動拠点は、市内に130カ所ある市民センター。そのひとつ、折尾東市民センターの活動を紹介します。



子育てサポーター「子サポ」の活動は、日常的な相談対応と、月1～2回実施する子育てイベントの企画・運営。折尾東市民センターでは毎月第1・2水曜日に子育てイベントを実施しています。イベント時間は約1時間で、この日は子どもたちが歌に合わせて体を動かすリズム体操のほか、栄養士を講師に招き、「おいしく食べよう」をテーマに乳幼児期の食育について話していただくなど、盛りだくさんの内容。参加した親子も「子サポ」の皆さんも、始まりから終わりまで笑顔、笑顔の1時間でした。



この日は4組の親子が利用。人との距離をしっかりと確保するなど、コロナ対策も万全。



折尾東市民センターのイベント名は「子育てひろばビーズクラブ」。各センターが自由に命名しています。



「ラララぞうさん」の歌に合わせて、つついたり、絞ったり、もみもみしたり。



イベントを運営する「子サポ」の皆さん。ちょっとした会話からパパ、ママの悩みを聞いたりも。

市民センター館長に聞きました！

市民センターは地域の人と人をつなぐ場。親子と地域をつなぐ子育てサポーターは、地域になくてはならない存在です。私は、どうすれば「子サポ」の皆さんが生きがいを持って取り組んでもらえるか、また若いお母さん方に気持ちよく利用してもらえるか、縁の下の力持ちとして気を配っています。



折尾東市民センター館長 片山恭子さん

折尾東市民センター イベント例

- 11月…………… 楽しい森のコンサート
- 12月…………… クリスマス会
- 1月…………… 保育所の先生とリズム遊び

こうした内容で1年間のプログラムが組まれています。毎回、「子サポ」さん全員がアイデアを出し合いながら決めています。



「子サポ」リーダーの声

子育てサポーターリーダー 山田則子さん

折尾東市民センターの場合、私もそうですが、お孫さんがいらっしゃる年代の「子サポ」さんも目立ちます。若い人の手助けができる満足感だけでなく、初孫と接する時の勉強になる、介護の苦勞が和らぐなど、自分自身の生活にもプラスに。まちで子どもさんに「あっ、『子サポ』のおばちゃん！」と声をかけられると、ますます元気が出ます。



利用者の声

八幡西区在住 田中さん親子

生後9カ月になる娘は同年代の子どもが大好き。今日で2回目ですが、前回は今回も、ここにいる間は、親子ですとニコニコしてました。今はコロナのこともあって子どもを遊ばせる場所が少ないので、すごく助かります。子育ての大先輩の皆さんにいろいろ教わるのもうれしいですね。子育てが一段落したら、私も登録したいと思っています。

いつでも気軽にご利用ください！

イベントは各市民センターのホームページで告知されています。参加を希望する人はお近くの市民センターへ問を。



CHECK! あなたも子育てサポーターになりませんか？

STEP1 / サポーター養成講座

各區で実施している「サポーター養成講座」に参加

講座の8割(例:5回中4回)以上に出席

お近くの市民センターに登録

講座内容

「発達に合わせたコミュニケーションの取り方」「けがの応急処置」「ワークショップ」など

STEP2 / リーダーを目指してスキルアップ

子育てサポーター登録後、定期的な研修も実施。

サポーター・フォローアップ研修

リーダー養成研修

リーダー・フォローアップ研修

このほか、市内の子育てサポーターが一堂に会する「のびのび交流会」は、貴重な情報交換と活動発表の場。毎年、多くの「子サポ」さんが参加し、つながりの輪を広げています。詳細は問を。

この特集に関するお問い合わせ 市民文化スポーツ局生涯学習課 ☎582・2385